

経営比較分析表（令和4年度決算）

長野県下諏訪町 下諏訪町四ツ角駐車場

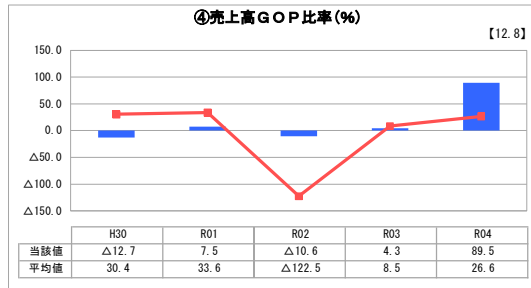
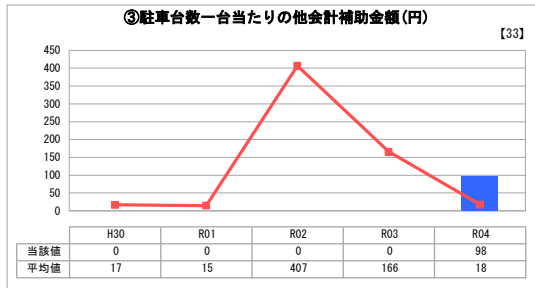
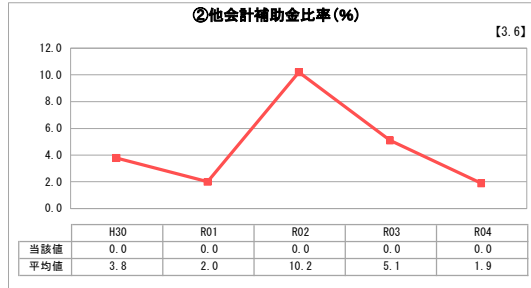
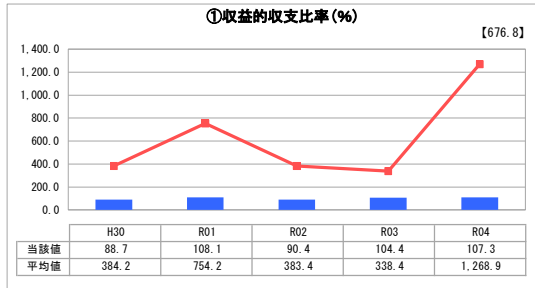
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	41	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	2,868
収容台数(台)	時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
144	200	無

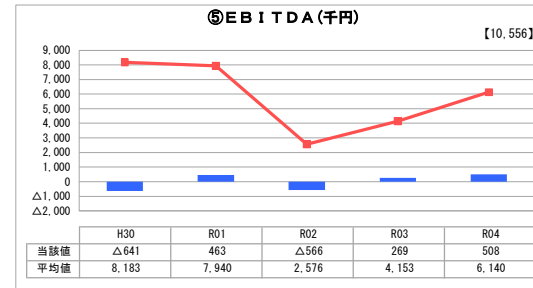
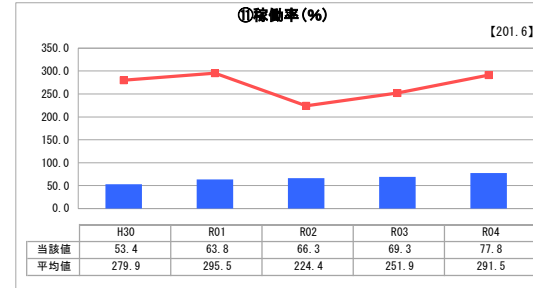
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

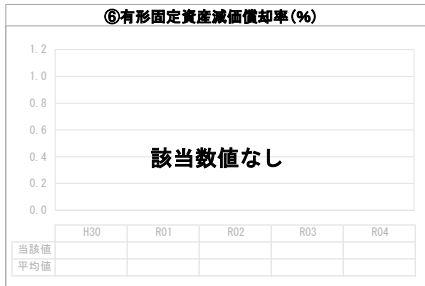
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

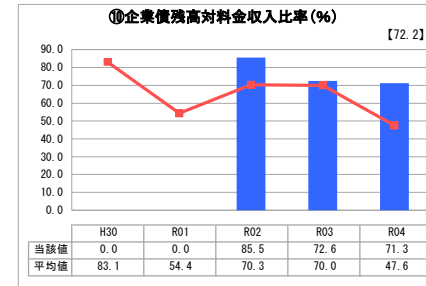
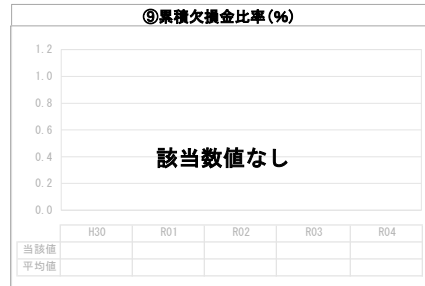


⑦敷地の地価(千円)

67,203

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 前々年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客を含む一般利用の料金収入が大幅に減少したが、前年度、当年度と徐々にコロナ前の値に近づいてきており、収益的収支は黒字傾向にある。

2. 資産等の状況について
 令和2年度から舗装改修工事やガードポール等設置工事など、資本的支出となる環境整備を行ってきたこと、令和4年度においては、旧トイレ等解体撤去工事や区画線補修工事、案内看板の更新を行った。今後について、経営戦略の投資・財政計画では、令和13年度までの計画期間内においては、大きな資本的支出を見込んではいないが、小規模な維持補修を行い、施設の長寿命化を図っていく。

3. 利用の状況について
 稼働率は年々伸びている。地元商店街への新規店舗の出入による一般利用客や御柱祭開催に伴う観光客の利用が増えたことが要因の一つと考えられる。

全体総括
 コロナ禍の状況ではあったが、令和4年度においては、御柱祭の開催年であったことや観光体験ツアーの利用客が増えたことなどにより、利用台数が伸び営業収益の増加に繋がった。また、営業費用で大きな割合を占める駐車場管理委託料の支出を、季節の利用状況に応じた柔軟な運営を行うことで、コストを削減し、営業総利益の増加に繋げることができた。しかしながら、類似団体と比べても、収益的収支比率、稼働率ともに低いため、駐車台数を増やすためのPR強化などの取組が必要である。